

1. 題材名 新しい人権

2. 本時の学習

(1) 本時の目標.....自己決定権の大切さについて実感し、その行使には重い責任が課されることを知る。

(2) 展開 (十分満足できる生徒、 おおむね満足できる生徒)

	学習活動	学習活動への支援・評価項目(方法)
つかむ 15分	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習内容を振り返る。 資料と説明から、自己決定権について知る。(千明美咲さんの例から) 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の知る権利、プライバシーの権利、環境権の内容について思い出させる。 新しい権利が表れるには科学技術の進歩などの理由があることを再確認する。 自己決定権が発達した背景について気づくように人工呼吸器や栄養点滴などを紹介する。 脳死と心臓死のちがいについて簡単に説明を行う。 自分の生きかたや生活の仕方について決めることが自己決定権であると説明し、ワークシートで意味をおさえさせる。
たてる 10分	<ul style="list-style-type: none"> 自己決定権の一例として臓器移植について考え <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">自分なら臓器移植を行うか。</div> 自分が亡くなったら他の人に臓器を提供するか考えてみる。 自分なりの理由をもって考えを書き表すことができる。 理由をもてないが提供するかしないかを選べる。 まったく判断できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 臓器移植の問題だけの授業にならないよう生徒と再確認を行う。 記入が進むように、悩んでいる生徒に対しては、積極的に助言をする。 賞賛し、多くの理由を書き表すよう指導する。 具体的な事例や資料を見て記入をするように指導する。 自分だけでなく、家族のことを考える。 臓器移植を受ける立場から考える。
確かめる 15分	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 提供する人 ・移植でしか治らない病気もある。 ・自分が死んでも、その一部は他の人に生かされる。 ・死んだら焼かれてしまうので、人の役に立ちたい。 </div> 相手の発表を聞いて感じたことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 提供しない人 ・心臓が動いているのに臓器を取ったら家族が悲しむ。 ・自分の体を傷つけない。 </div> 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に机間指導をし、生徒たちの主な意見を抑えておく。 提供する人の考え、提供しない人の考えを分けて板書する。 自分は臓器提供をしないが提供したい人もいるので制度自体には賛成という意見があればそれも一つの考えとして認めたい。 多くの生徒に発言ができるよう多様な意見を認めたい。 どちらとも判断できない生徒がいても理由があればよいこととする。 考えをはっきりと全員に伝えられるようはっきり発言するよう指導する このように自分に関することについて自分自身や他人が幸せになるために自主的に決定する権利が「自己決定権」であるがそれには自己の重い責任があることを押さえる。 今後、インフォームドコンセント(情報を得た上での同意)や自己決定が必要になることに気づかせたい
深める 10分	<ul style="list-style-type: none"> 今日の授業での自己決定権の意味と感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ドナーカードを配布し、自己決定権について良く考えるように助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">自己決定権の大切さと意味について実感し、その行使には責任を伴うことを感じ取る。(感想)</div>